

まちの話題



道の駅かづのあんとらあ リニューアルグラン ドオープン

4月24日に、鹿角観光ふるさと館大規模改修工事竣工記念式典が行われ、道の駅かづのあんとらあがリニューアルグランドオープンしました。式典では、工事に携わった関係者が参列し、児玉市長から感謝状が贈られました。式典の最後には、テープカットが行われ、新たな道の駅かづのあんとらあへのスタートを祝福しました。



かづのロータリークラブ デジタルサイネージを 寄贈

4月24日、道の駅かづのあんとらあのリニューアルグランドオープンを記念し、鹿角ロータリークラブからデジタルサイネージが寄贈されました。デジタルサイネージとは、さまざまな情報を画面に映し出すことができる広告媒体で、寄贈されたものは縦長のディスプレイ型のものです。道の駅では、利用者に分かりやすい観光やイベント情報の発信に活用していきたいとしています。



感動！鹿角パークホテル グランドオープン

4月30日に、感動！鹿角パークホテルがグランドオープンし、記念式典が行われました。阿部副市長は「この短期間でオープンに至ったことは、誠に素晴らしいこと。今後は、まちの中心地として、賑わってほしい」と祝福しました。式典の最後には、テープカットが行われ、関係者らがテープにはさみを入れると同時に花輪ばやしが行われ、感動！鹿角パークホテルの新たな運営がスタートしました。



鹿角紫根染・茜染 展示会

4月29日～5月5日まで、感動！鹿角パークホテルの2階フロアで、鹿角紫根染・茜染展示会が行われました。これは、鹿角紫根染・茜染研究会が開催したもので、鹿角の伝統の染めを多くの方に親しんでもらおうと企画されました。フロアには、人間国宝の故・栗山文次郎氏の染め方を忠実に再現して染められた色鮮やかな紫と茜色の作品が数多く展示され、来場者の目を惹き寄せました。



蔵かに奉納 大森親山獅子大権現舞

5月5日、県の無形民俗文化財に指定されている「大森親山獅子大権現舞」が尾去沢の八幡神社で奉納されました。尾去沢鉾山発見に由来するといわれるこの神楽は、500年以上の歴史があるとされています。最後の米汲みの舞は、獅子頭が旧暦元日に若水を汲んで飲むというもので、伊勢神楽に通ずる県内他地域に見られない特異なものです。笛や太鼓の音に合わせて演じられる躍動的な舞は、訪れた参拝者を魅了しました。



コモッセを巡る「コモッセクエスト」

5月5日、文化の交流館コモッセでこの日にちなんだイベントが行われ、多くの来場者でにぎわいました。コモッセ内に隠されたさまざまな謎解きをしながら、ゴールを目指す企画「コモッセクエスト」が用意され、親子でコモッセ内を回りました。ゴールした後は、こもれば広場に用意されたミニ四駆で遊び、そのスピードに驚き、歓声を上げて楽しみました。



約2万5千本の チューリップ畑

4月下旬から大湯地区のチューリップ畑が見ごろを迎え、多くの方が足を運んでいました。このチューリップ畑は近所に住む工藤さん夫婦が育てており、今年はおよそ2万5千本のチューリップを植えました。例年に比べ、開花が1週間ほど早く、5月10日ごろまで美しく咲き誇りました。親子連れも多く訪れており、花を見て嬉しそうにはしゃぐ子どもたちの姿が見られました。



尾去沢山神社祭典 かなやまソーラン

5月14日から15日にかけて尾去沢山神社祭典が行われ、多くの観客が詰め掛けました。山神社祭典は、鉾山にまつわる尾去沢山神社の祭典で、閉山後も地域の活力を保つため、地元有志により地域の一大イベントとして続けられています。15日には、尾去沢の小学生と中学生、およそ200人が一堂に会し、かなやまソーランを演舞しました。会場に訪れた観客からは、たくさんのお拍手が送られました。



百歳長寿を祝う 川又テルさん 三ヶ田徳子さん

川又テルさん（大正10年・花輪生まれ）が4月10日に、三ヶ田徳子さん（大正10年・尾去沢生まれ）が4月20日に満100歳の誕生日を迎えたことから、市から顕彰状と祝い金が贈られました。川又さんは、平成30年から施設に入所していますが、施設の職員やほかの入所者と楽しく話したり、踊ったりして周囲を笑顔にしてくれているそうです。また、施設職員は「川又さんの芯を強く持ち、自分自身を律しながら生活することが長生きの秘訣ではないか」と話していました。三ヶ田さんも、施設に入所しており、食事や歌、お話をとても楽しみにしているそうです。また、「言いたいことを言ったり、自分の好きな話をしたり、食べたいときに食べたり、ストレスのない生活を送ることが長寿の秘訣」と話していました。